

「高知県四万十町興津地区における個別訓練タイムトライヤル」

防災研究所 巨大災害研究センター
巨大災害過程研究領域

高知県四万十町興津地区は、最新の津波想定では、最悪の場合で、津波高が 25m に達し、30cm の津波であれば地震発生後わずか 10 分程度で来襲する可能性があると言われていた地域です。巨大津波による被害を防ぐために、これまでも津波避難場所や避難路など施設面の整備がかなり進んできましたが、そうした施設を生かすためにも、「適切な場所に迅速に確実に避難すること」が大切になります。個別訓練タイムトライヤルとは、避難に関する具体的な問題を個人ごとにつかんで、「個別具体的に」対策を講じるために開発した方法です。

個別訓練タイムトライヤルは、一人一人、個別に（または、家族単位で）行う津波避難訓練です。自分がふだんいる場所（たとえば、自宅や職場）から最寄の避難場所まで、所要時間を計りながら実際に逃げてみます。学校での防災学習と組み合わせる場合は、その様子を子どもたちがビデオ撮影し、その結果を分析して、子どもたちからのメッセージ（避難の改善点）を訓練参加者にお届けします。さらに、避難の様子を、津波浸水シミュレーションと合成して、コンピュータ・グラフィックスで確認することも可能です。

この「高知県四万十町興津地区における個別訓練タイムトライヤル」は、防災研究所が 2012 年度より文部科学省の支援を受けて開始している「巨大地震津波災害に備える次世代型防災・減災社会形成のための研究事業－先端的防災研究と地域防災活動との相互参画型実践を通して－」（略称：減災社会プロジェクト）の中核プロジェクトの一環として、矢守克也教授が発案し、高知県四万十町興津地区の興津小学校、地域住民の方々の協力のもと、実施しています。

また、その様子は各マスコミに多く取り上げられました。現在までの報道状況は以下の通りです。

<個別訓練タイムトライヤル> マスコミ報道状況

- 「子どもが提言：避難の問題」 NHK「おはよう高知」（2013年2月4日）
- 「登校中津波、どう逃げる？ 京大防災研が検証訓練」 高知新聞（2012年1月30日）
- 「登校時に津波避難訓練」 NHK「こうち情報いちばん」（2013年1月29日）
- 「みんなで助かる意識を 高知市で防災教育フォーラム 京大教授が講演」 高知新聞（2013年01月28日付）

- 「避難カルテで変わる防災意識」 NHK「おはよう日本」 (2013年1月24日)
- 「避難カルテで変わる防災意識」 NHK「ニューステラス関西」 (2013年1月22日)
- 「避難カルテで変わる防災意識」 NHK「こうち情報いちばん」 (2013年1月16日)
- 「阪神淡路大震災から生まれた防災カードゲーム」 MBS ラジオ「夜はラジオを決めています～ネットワーク 1.17」 (2013年1月15日)
- 「個別避難訓練」高知市・四万十町の試み：高齢者誘導 児童ら率先 河北新報 (2012年12月11日付)
- 「ぼうさい甲子園:受賞校決まる 県内から津波ぼうさい賞に興津小、継続こそ力で賞に愛宕中 /高知」 毎日新聞 (2012年12月12日付)
- 「興津小、津波個別避難訓練」 NHK「こうち情報いちばん」 (2012年11月29日)
- 「動画カルテ～寄り添う避難訓練 (連載コラム：現代のことば)」 京都新聞 (2012年8月21日付)
- 「僕たちがつくる『ふるさとの未来』」 NHK「シンサイミライ学校」 (2012年8月17日)
- 「避難カルテ：興津小、防災学習会で動画を発表 地域一体、災害時へ自信?? 四万十／高知」 毎日新聞 (2012年7月11日付)
- 「児童が地域に津波防災対策提言」 NHK「こうち情報いちばん」 (2012年7月10日)
- 「津波高新想定 小学生、高齢者防災に一役」 朝日新聞 (2012年7月5日付)
- 「津波防災の取り組みを進めるヒント～高知県四万十町興津～」 NHK ラジオ「関西ラジオワイド」 2012年7月5日放送
- 「GPS持ち住民避難訓練 的確経路探る」 読売新聞 (2012年6月27日付)
- 「児童がお年寄りと津波避難訓練、高知県四万十町の興津小学校」 NHK「こうち情報いちばん」 2012年6月26日放送